

【表紙】

大毎映画読本第五課

美術の秋塑造篇 全一卷

【表紙裏】

【1頁】

(発聲フィルム)

美術の秋 塑造篇

全一卷 二三七米

台湾総督府

N第二〇六八号

検閲済

有効期間

自昭和十五年九月二十五日

至昭和十八年九月二十四日

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

大毎東日映画読本第五課 全一卷

美術の秋塑造篇 製作提供 大阪毎日新聞社 東京日日新聞社

梗概

力強い興旺日本の芸術が、悠久二千六百年の歴史と伝統を背景として崇高なる『美の世界』を示す可き美術の秋は訪れて来ました。その美術の中より塑造を選び、如何にして塑像は出来るのか、原型を造る基の粘土より□り□して製像より原型の完成、それより石膏像の完成へ、それより展覧会へと美術家の如何にその為に心を砕くかを示したるものであります

(梗概了)

【3頁、上段】

(字幕)

1. 大毎映画読本第五課
録音RCA襠英シネマ
2. 第五課
3. 美術の秋
塑造篇

【3頁、下段】

1. (音飛)

2. (アナウンス)

美術の秋が訪れて来ました。上野の杜に聖戦満三週年を迎えて美術の華は如何に開くでせうか。分けても今年は紀元二千六百年——国を挙げて奉祝に湧き立つ赦喜の中に力強い興旺日本の芸術が悠久なる歴史と伝統を背景にして崇景なる『美の世界』を□ざなければなりません。日本西洋西彫塑工芸——その中から塑造を選んで秋のシーズンに御贈りします。
上海陸戦隊の表忠塔——八紘之基柱、その他数々の後世永遠に遺す可き名作、記念塔の製作に当つてゐる日名子実三氏のアトリエを訪れました。

【4頁】

塑像は何うして出来るか今婦人の胸像に例を取ってみませう。先づ原型を作る□の粘土が作者自身の手に依つてコネられて行きま。之が出来上がると後々製作に取り掛かる順序となるのです。椅子に腰掛けたモデルを見詰めたら、粘土を掴んだ日名子氏の手は忙しく動いて行きました。美を探求する製作者の厳肅な意欲はアトリエの隅々にまでしみ込んで□□な□□が無音それはの中に空間を支配してゐる事がヒシヒシと感ぜられます。

□て原□が完成されると今度は之を石膏に取ります。それは石膏師の手によつて行はれますが、日名子氏が世界一の石膏

師と折紙をつけてゐる中越□□氏が運んで行く手腕をご覧下さい。其処で初金を入れて今度は表面の細い□まで原型を写す為に石膏のハキツケが行はれます。このハキツケに依つてどんな細かい部分でも極めて明瞭に写し出すことが出来ます。

続いて針金を入れる作業が始まります。この針金を入れる理由は一つは保残のため——つまり壊れるのを防ぐためと、もう一つ石膏の塗る厚さを揃えると云ふ目的に依るものであります。針金の厚さ

を揃えると云ふ目的に依るものであります。針金の厚さ丈は石膏を塗る事に依つて全面的に同じ厚さにする事が出来る訳であります。斯うして塗られた石膏が固まると今度はカキ出しと言つて原型の粘土が又次の製作に□つて□り返した上使用される事は申す迄もありません。

【5頁、上段】

4. 製作

大阪毎日新聞社

東京日日新聞社

5. 我が興旺の兵力戦

歌へ国民の軍歌

終

【5頁、下段】

カキ出しが終わつてもまだ内面に土がついてをりますから土を水でよく洗ひ落します。斯うして出来た石膏をメガタと云ひます。

今度は□々内につき込む雄型——つまり原型と同じ様なものをとる順序になるのです。ここで雌型と石膏がくっつかない様雌型の内面に石鹼の溶液を充分に塗ります。

之で愈々準備が出来上つて、さあ石膏のつき込みとなるのです。雌型の場合と全様に石膏の溶かし方は石膏と水とを等量と云はれてゐます。其の接配にも石膏師の秘法があるのです。そして更に保強の為にワタを混ぜた石膏を入れ、それがやがて充分に石膏が固まつてから愈々最後の仕上げである型割りが行はれます。ノミでポロク表面を壊して行きますと、その下に真つ白な石膏像が——

原型そのままにクツキリと美しい姿を現はしています。之で立派に完成を見る訳です。

展示会場を飾る幾多の石膏像はこのやうな製作過程を経て作り上げられてゐるのです。

(音楽)

“完”

【データ採録…古賀淳子】【校正…森田健嗣】